

とちぎ発

# 元気農業

ふるさととちぎ21活性化塾だより



平成26年

57号



オープニングでのテープカット



食の街道出展風景

平成26年1月15日～3月14日までの約2か月間、池袋のホテルメトロポリタンで開催される栃木県内の食材を使用した「産地と技の饗宴 栃木フェア」を開催するにあたって、その告知PRのオープニングイベントが、ホテル近くのメトロポリタンプラザビル1階自由通路（池袋駅直結）で行われました。これに併せて食の回廊事業の一環として、「いい芳賀いちご夢街道」と「歴史とロマンのかんぴょう街道」が出展し、いちご大福やかんぴょうまんじゅうなどをPR販売したほか、食の街道〇×クイズやじゃんけん大会では、ゆるキャラの「とちまるくん」と「とちはなちゃん」も参加し盛り上げてくれました。

## 目次

- 平成25年度経営構造対策推進事業研修会を開催
- 地域づくりリーダー育成研修会を開催
- 「とちぎ6次産業化実践塾」を開催
- 平成25年度美しいとちぎのむら写真コンテスト優秀作品
- 平成25年度ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクール優秀作品
- 「つなごう！食と農実践講座」を開催



## 平成25年度経営構造対策推進事業研修会を開催

経営構造対策事業等で整備した施設等の効率的・効果的な運営を確立し、施設等の健全な運営管理を図るために研修会を開催しました。

平成25年11月14日(木)、道の駅「ろまんちっく村研修室」において関係機関・団体等の参加をいただき以下の内容で研修会を開催いたしました。

### ○事務研修

#### 「経営構造対策事業等で取得した施設等の財産管理上の諸手続について」

県農政部農村振興課の杉原主査から事業で整備した施設等で、事業主体の諸事情等により財産処分や模様替え等を行う場合には、事前に適正な諸手続が必要であることについて研修を受けました。



講師：栃木県農政部農村振興課主査 杉原 一弘 氏

### ○事例研修

#### 「新農業ビジネスの確立を目指して」

事例研修としまして、県内の若手農業者で構成する「株式会社農援団」の亀田代表から会社の持続的な発展を図るためには、グループ活動の拠点をかまえることや販路拡大に向けた体制を確立するする必要から、道の駅ろまんちっく村とタイアップして活動を開始して、消費者の声を活かした新たな農業ビジネスの創出を目指していると貴重なお話を伺いました。



講師：(株)農援団代表 亀田 泰志 氏と研修風景

### 講演

#### 「進化する道の駅と農業・農村の活性化」

また、「株式会社ファーマーズ・フォレスト代表取締役社長の松本謙氏」を講師として招いて講演をいただきました。

松本社長は「道の駅ろまんちっく村」を農業と食、地域資源を結ぶ場の総合的プロデューサーとして運営を行っている中で、これからの道の駅等の都市農村交流施設は、施設の特徴を活かした地域経営の拠点であると同時に、周辺地域の活性化を図るためには資源を活かして何に取り組むかが課題となっています。そこで、都市農村交流の中核施設である道の駅等は、新鮮でユニークな商品に加えてプラスαをいかに提供するかが重要であることから、関係者と一体となった新たな取組が地域を元気にするとして講演を終了いたしました。



講師：(株)ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長の松本 謙 氏



## 地域づくりリーダー育成研修会を開催

平成25年度地域づくりリーダー育成研修会が11月23～24日、栃木市都賀町の大柿コミュニティセンターで25名の受講生が参加して開かれました。

研修会は、農村環境の保全や地域住民活動の促進を図るため、次世代の地域リーダーとなる人材を育成することを目的に、栃木県と県農業振興公社が平成23年度から毎年開催しているものです。

初日は、橋立達夫作新学院大学教授の「地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策について」と題する講義や農業・農村の情勢や県の施策、鳥獣害の現状と課題など、地域づくりの基礎知識を学びました。2日目は、栃木市のまちなか活性化に取り組んでいる阿部佳司さんら県内各地で活躍している4名の方の話を聞いたり、佐々木英和宇都宮大学准教授によるワークショップの実践研修を行いました。



研修風景



講義する橋立教授



先進優良事例発表



事例発表者との意見交換



グループに分かれてワークショップの実践研修を行う受講生



## 「とちぎ6次産業化実践塾」を開催

栃木6次産業化サポートセンター（公益財団法人栃木県農業振興公社）では栃木県と共催し、昨年度に引き続き「とちぎ6次産業化実践塾」を開講しました。この塾は、優れた経営感覚をもつ人材を育成するため、6次産業化を目指す若手農業者を対象に23名が受講しました。

塾長には、6次産業化計画づくりアドバイザーである㈱ファーマーズ・フォレスト代表取締役社長の松本謙氏を迎え、著名な講師による研修内容については「パッケージデザインとネーミングづくり」をはじめ「FCPシートの作成」や「インターネット販売」、「知的財産」などをテーマに、半年にわたって計6回の講義とグループワークを行いました。

また、昨年度この塾に参加し、6次産業化を実践している農業者の現地へ出向き、取り組んでよかったことや苦労した話など生の声を聞くことができました。受講生たちは、「6次産業化に向けてのノウハウが学べた」「同世代のネットワークができたので是非生かしたい」など意欲を燃やしており、今後の活躍が大いに期待されます。



第1回（開講式、6次産業化総論）



第2回（先進事例現地視察）



第3回（パッケージデザインとネーミングづくり演習）



第4回（FCPシートの作成とグループワーク）



第5回（インターネット販売）

### 【問い合わせ先】

栃木6次産業化サポートセンター

（(公財)栃木県農業振興公社農政対策部内）

TEL：028-648-9511

ホームページ <http://www.tochigi-agri.or.jp/guide/10/10-1.html>



## 平成25年度美しいとちぎのむら写真コンテスト優秀作品



「躍動する農業・農村の姿を撮ってみよう」をテーマに、栃木県・栃木県土地改良事業団体連合会及びふるさととちぎ21活性化塾の共催により、平成25年度（第20回）美しいとちぎのむら写真コンテストを開催したところ、県内の中学生、高校生から159点の応募をいただきました。厳正な審査を行い、最優秀作品2点、優秀作品4点、入選作品20点を選定しました。以下、最優秀作品2点と優秀作品4点を紹介します。

### 農業に生き生きと携わる人々の部門

### 農地、水、農村環境を守る活動部門

最優秀賞（栃木県知事賞）



真岡市立長沼中学校 3年 阿部 貴美さん  
「ストロベリーガーデン」



真岡市立長沼中学校 3年 鈴木 理紗さん  
「稲の細道」

優秀賞（栃木県農政部長賞）



真岡市立長沼中学校 2年 西田 美玖さん  
「中々足が抜けないの～」



那須町立東陽中学校 3年 山口さつきさん  
「農作業をする人々」



鹿沼市立栗野中学校 1年 小島 菜摘さん  
「一つ一つが」



宇都宮短大附属高等学校 2年 鈴木 嘉人さん  
「収穫日和」



# 平成25年度（第22回）ふるさととちぎ 農業・農村児童画コンクール優秀作品

栃木県とふるさととちぎ21活性化塾（事務局：（公財）栃木県農業振興公社）の主催による児童画コンクールに、県内の小学生から1,182点（158校）の応募があり、審査の結果入賞作品39点が選ばれました。

平成25年11月9日、とちぎアグリプラザ（宇都宮市一の沢）で開催した「アグリプラザまつり会場」で表彰式を行いました。また同会場と10月19・20日に栃木県庁で開かれた「とちぎ食と農ふれあいフェア-2013会場」で優秀作品を展示しました。

## 低学年（1・2年生）の部



最優秀賞  
（栃木県知事賞）

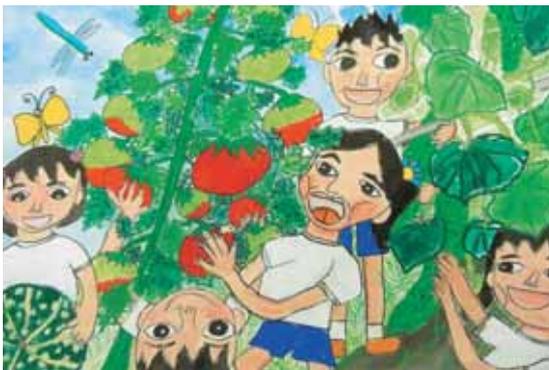
小山市立  
大谷東小2年  
野村 光孝さん  
「稲刈り」

優秀賞（栃木県教育長賞）

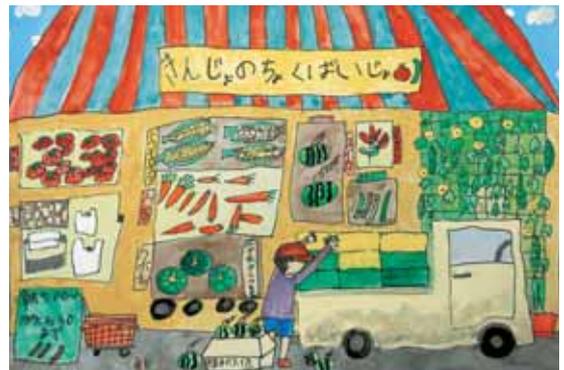


低学年受賞者

優秀賞（栃木県農政部長賞）



鹿沼市立石川小2年 石川 夏凧さん  
「やさいがいっぱいみんなのうえん」

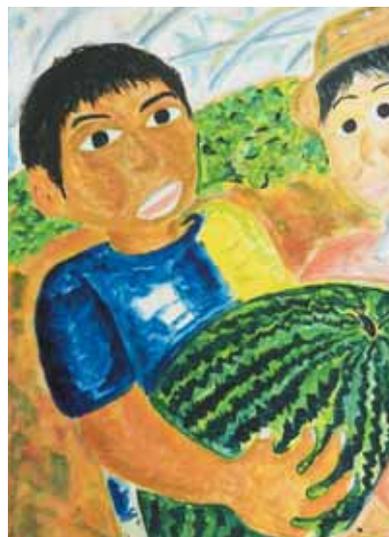


栃木市立赤津小2年 小林 山都さん  
「ちかくのちよくばいじょの風景」

## 中学年（3・4年生）の部



中学年受賞者



最優秀賞  
（栃木県知事賞）

那須烏山市立  
烏山小3年  
青木 佳祐さん  
「近所の  
おばさんと」



優秀賞（栃木県教育長賞）



真岡市立真岡小 4年 仙波 風花さん  
「夏とおじいちゃんと私」



優秀賞（栃木県農政部長賞）



日光市立今市第三小 3年 福田 桃子さん  
「トマトのう家のじまんのトマト」

## 高学年（5・6年生）の部

最優秀賞（栃木県知事賞）



野木町立南赤塚小 5年 平野 恵里香さん  
「トラクターに乗って立ち話!？」



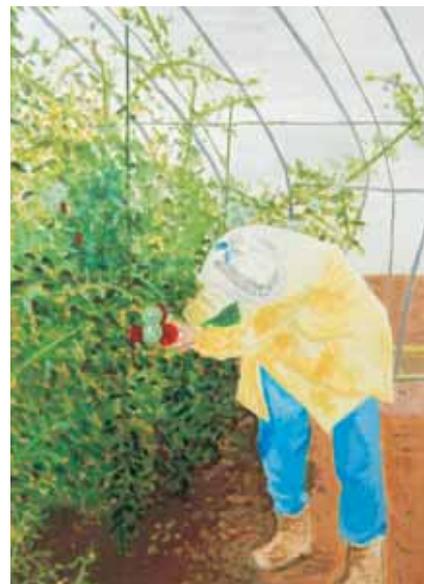
高学年受賞者

優秀賞（栃木県農政部長賞）

優秀賞（栃木県教育長賞）



真岡市立大内西小 5年 天川 真由香さん  
「収穫の喜び」



那須塩原市立共英小 5年 栗山 花凜さん  
「夏野菜の収穫」



# 「つなごう！食と農実践講座」を開催

栃木の食と農を知って、地域へ伝える「つなごう！食と農実践講座」が8回シリーズで開催されました。今年、応募者が多く抽選で受講者を定めることとなりましたが、それだけ皆様の食と農に対する関心が高かったということがわかりました。

講座を受講された方々へは、「食と農の伝道者」としての修了証が授与され、今後、各地域において、栃木のすばらしさを伝えてくれると期待しています。

<p>【開講式】</p>  <p>とちぎの食と農をしっかりと学んでください。</p>	<p>【第1回】</p>  <p>ユニバーサル農業の効用を理解してください。</p>	<p>【第2回】</p>  <p>農業高校生はとっても忙しいのです。</p>
<p>【第3回】</p>  <p>里山の保全は自然との共存。これからも守り続けていきます。</p>	<p>【第4回】</p>  <p>今も昔も農家は工夫して野菜をつくっているのです。</p>	<p>【第5回】</p>  <p>みみうどんってこうやって作るんですよ。</p>
<p>【第6回】</p>  <p>粘土の扱いは難しいですよ。</p>	<p>【第7回】</p>  <p>農業試験場をはじめて見学しました。</p>	<p>【第8回】</p>  <p>おやさいの植込みって大変だね。でも楽しい。</p>

## 今年、38名の「食と農の伝道者」が誕生！

【閉講式】

ご苦労様でした。御活躍を期待しています。



### 【多彩なコースでとちぎの食と農の理解を深めました】

- 第1回 開講式・ユニバーサル農業についてなど
  - 第2回 農家や農業高校の活動報告など
  - 第3回 ツインリンクもてぎの里山保全活動
  - 第4回 6次産業化や有機栽培を学習
  - 第5回 とちぎの郷土料理についての調理体験
  - 第6回 食の基本「食器」と農村の歴史を県立博物館で学習
  - 第7回 いちご研究所見学と大麦工房ロアの工場見学
  - 第8回 野菜の寄植体験と情報発信の模擬演習
- 最後に、閉講式を行いました。

### 受講者の声…

- ・有機栽培のことが良くわかりました。
- ・6次産業って今後の日本の農業に必要。
- ・ツインリンクもてぎの取組に驚いた！
- ・食の基本は食器！小砂焼でこれを見た。
- ・いちご研究所のご苦労を知りました。
- ・郷土料理がおいしかった。
- ・那須拓陽高校生の取組を知って将来の農業に希望がもてた。頑張れ！
- ・食と農の伝道者となって活躍したいです。

とちぎ発 元気農業 ふるさととちぎ21活性化塾だより57号

発行日 平成26年2月7日  
編集・発行 ふるさととちぎ21活性化塾  
所在地 〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13  
(公財)栃木県農業振興公社内

TEL 028(648)9511(代) FAX 028(648)9517  
URL : <http://www.tochigi-agri.or.jp>  
Eメール : [info@tochigi-agri.or.jp](mailto:info@tochigi-agri.or.jp)

